土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　可部八丁目21地区　外　急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	BO-6	**調査位置**	広島県広島市安佐北区大林町			**北緯**	34° 34′ 15.9754″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2022年 4月 2日 ～ 2022年 4月 5日	**東経**	132° 33′ 45.3197″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 140.33m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	6.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦地下工機　D-0B		
エンジン	ヤンマー　NFAD8	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3B				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	139.53	0.80		礫質土						
1	139.23	1.10		玉石						
				礫質土		暗褐	rd3		盛土。 φ40mmまで角礫主体で、礫は最大でコア長20cm程度の硬質なのものを含む。 表層10cmは腐葉土。	04/06 2.64
2	137.93	2.40								
3				花崗岩		淡橙灰			軟岩II(CM級主体) CM級を主体とし、一部CH級を挟む。 コアは柱状コアとして採取され、岩片硬質。 深度2.6m～2.7mの間、割れ目密集し岩片状である。 水平方向の割れ目が数cm～十数cm間隔で入る。	04/06 2.57
4										
5										
6	134.33	6.00								
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
20	1.25	4	6	10	20/300		
	1.55						
14	2.15	2	4	8	14/300		
	2.45						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					1/2
					1/4
					4/6